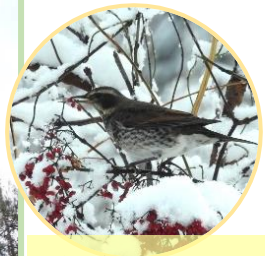
新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙　　令和５年６月１日発行

つぴまる

# シジュウカラ　第104号


ガマズミの実を食べるツグミ

ヤマウルシの実を食べるシロハラ

ウワミズザクラの実を食べるメジロ

## もくじ

1 ページ　・愛鳥センター周辺の森林の変化
2 ページ　・野生動物を巻き込む交通事故に気をつけて！
3 ページ　・イベント案内（7～10 月）
　　・イベント報告（1～3 月）
4 ページ　・傷病鳥獣の収容状況（12 月～3 月）
　　・愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね

愛鳥センターHP
QRコード

## 表紙の写真

1990 年５月に愛鳥センターが開館した当時、愛鳥センター周辺は樹高 10mに満たないアカマツ林内にわずかに広葉樹が認められる森林でした。

その後、アカマツ林内に広葉樹の侵入が進むと同時に、松くい虫被害や冠雪害でアカマツが徐々に衰退し、広葉樹が優占する森林に移り変わっています。

愛鳥センター周辺では、現在 85 種の樹木（植栽樹種を除く）を確認しています。このうち鳥が食べたり、あとで食べるために隠したりして散布される樹木が 71 種で 83.5%を占めています。このように愛鳥センター周辺の森林は、鳥が大きく関わって変化しているのです。

## 野生動物を巻き込む交通事故に気をつけて！

アナグマが落ちていた現場の様子

昨年の秋、通勤途中でアナグマの交通事故死体を見つけました。センターラインに重なるように道路の真ん中にタテ向きに横たわっていたので、どのようにぶつかったのか不思議でした。

外見は鼻が折れている様子で出血があるものの、全体的にはとてもきれいな状態でした。こんなにきれいな死体はなかなか落ちていないので、これはぜひ標本に！と思い、ゴム手袋でつかんでビニール袋に入れ、拾ってきました。

袋の中では、宿主が死んだことを察知したダニがワラワラと出てきていました。冷凍庫に入れましたが、半日くらい経ってから覗いてみても、まだダニが動いていました。恐怖です・・。（ダニやノミなどの寄生虫や感染症の危険もあるので、野生動物は素手で触らないでください）

アナグマはタヌキに似ていますがタヌキの仲間ではなく、名前にクマと付きますがクマの仲間でもなく、イタチの仲間です。ずんぐりした体に短めの手足、なんともかわいいフォルムです。長いツメを持っていて穴掘りが得意です。

**アナグマの前足（裏側）**
**ツメが立派！！**

標本作製のために解剖すると、外見ではわからなかった損傷がたくさん見つかりました。腹腔の膜や内臓は破裂し、お腹の中は血だらけで、想像以上の損傷の激しさに驚きました。背骨も２か所折れていました。そのうち１か所は完全に分離するほどボキッと折れていて、即死だったのではないかと思います。

道路を歩いていたところに車が来て強くぶつかり、はね飛ばされてセンターラインのところに落ちたと考えられました。最初の疑問が解けました。

哺乳類は夜行性のものが多く、夜に道路に出てくることもあります。動物は車に出会うとヘッドライトの強い光に目がくらんで逃げられず、車の方も夜間はスピードを出していることも多いためにブレーキが間に合わず、お互いに避けられない状況になって事故が起こります。朝に動物の死体を見かけることが多いのはこのためです。

愛鳥センターの周辺でも、タヌキなどの交通事故死体を度々見かけます。この周辺だけで年間何頭も目にしていることを考えると、全国でどれだけの動物が事故で死んでいるのだろうと考えてしまいます。

それらの死体は、道路管理者が片付けてくれたり、カラスやトビなどの自然界のお掃除屋さんが食べてくれていつの間にか片付いています。しかし、道路上の動物の死体を食べに来たカラスやトビが事故に遭う二次被害が起こることもあります。

鳥獣に限らず、カエルやヘビなど様々な生き物が道路で事故に遭っていますので、周辺が自然の多い場所では特に気をつけて、やさしい運転をお願いします。

**毛皮の標本**
毛皮の標本を作りました。
今のところ展示はしていません。
骨の標本も作製中です。

## 7月～10月イベント案内

申込み受付けは７月１日より開始

住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mail でお申し込みください。参加費は無料です。
内容が変更または中止になる場合がありますので、HP 等で最新の情報を確認してください。

### 夏休みイベント

**〇工作教室（消しゴムはんこ）**

日時：７月 30 日（日）13:30～15:00
場所：愛鳥センターレクチャールーム
定員：20 名　　対象：小学校高学年以上
持ち物：彫刻刀、デザインカッター（あれば）
鳥の消しゴムはんこを作ります

**〇昆虫観察会**

日時：８月５日（土）9:00～11:00
場所：愛鳥センター周辺　　定員：20 名
水分、帽子、タオルなど熱中症対策をお願いします。

**〇巣箱作り教室**

日時：①8 月 19 日（土）②8 月 20 日（日）
各回とも 13:30～16:00
場所：愛鳥センターレクチャールーム
定員：８組
対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）
スズメやシジュウカラ用の巣箱を作ります。

### 探鳥会・観察会

シロチドリ

**〇シギ・チドリ観察会**

日時：９月３日（日）7:00～9:00
場所：網代浜（聖籠町）　　定員：20 名
集合：聖籠町海のにぎわい館
海岸を歩きます。暑さ対策をお願いします。

**〇愛鳥センターバードウォッチング②**

日時：９月 30 日（土）9:00～10:30
場所：愛鳥センター周辺　　定員：20 名

**〇清潟探鳥会**

ノスリ

日時：10 月 22 日（日）9:00～11:00
場所：清潟公園（新発田市）　定員：20 名
集合：清潟公園駐車場
秋の渡りの途中の鳥を観察します。

**〇めざせ！鳥類調査員　鳥の鳴き声勉強会（秋）**

日時：10 月 28 日（土）9:00～11:00
場所：愛鳥センター周辺　定員：10 名
対象：小学校高学年以上で鳥の野外調査に興味がある方

### 特別展

★野鳥写真展
★令和５年度用愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会入賞作品展
７月９日（日）まで同時開催

★夏季特別展　「続　傷病鳥獣が教えてくれること　～解剖ノートから～」
７月 15 日（土）～９月 18 日（月・祝）
★令和６年度愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会入賞作品展
９月 22 日（金）～10 月 22 日（日）

**特別展は 2 階で開催しています**

## 1月～3月イベント報告

### ◆足跡ウォッチング

日時：令和５年１月 22 日（土）9:00～11:00
場所：愛鳥センター周辺　　参加者：６名
天気：くもり時々雪
観察したフィールドサイン：イタチの足跡、ノウサギの足跡、タヌキ？の足跡、ハシブトガラスの足跡、スズメ？の足跡、サギ（ダイサギかアオサギ）の足跡とフン
その他ハラビロカマキリの卵、カメノコテントウ、植物の実や冬芽なども観察しました。

2 月 12 日に予定していた新潟県野鳥保護の集い（瓢湖）、3 月 5 日に予定していたお幕場大池探鳥会は、鳥インフルエンザの防疫対策のため中止しました。

## 令和４年 12 月～令和５年３月の傷病鳥獣収容結果

| 収容NO. | 種類 | 11月末収容数 | 収容数 | 放鳥獣 | 譲渡返還 | 死亡 | 3月末収容数 | 収容NO. | 種類 | 11月末収容数 | 収容数 | 放鳥獣 | 譲渡返還 | 死亡 | 3月末収容数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （鳥類） | | | | | | | | | クマタカ | 1 | | | | | 1 |
| 1 | コハクチョウ | 7 | 5 | 2 | | 4 | 6 | | フクロウ | 2 | | | | | 2 |
| | オオハクチョウ | 1 | | | | | 1 | | チョウゲンボウ | 5 | | | | 1 | 4 |
| 2 | アラナミキンクロ | | 1 | | | 1 | 0 | | ハヤブサ | 1 | | | | | 1 |
| 3 | キジバト | | 2 | | | 2 | 0 | 8 | オナガ | | 1 | | | 1 | 0 |
| | アオバト | 4 | | | | | 4 | | ハシボソガラス | 4 | | | | 1 | 3 |
| 4 | オオミズナギドリ | | 5 | 2 | | 3 | 0 | 9 | メジロ | | 1 | | | 1 | 0 |
| 5 | カワウ | | 1 | | | 1 | 0 | 10 | ドバト | | 2 | 1 | | 1 | 0 |
| 6 | アオサギ | | 1 | | | 1 | 0 | 小計 | | 44 | 20 | 6 | 0 | 19 | 39 |
| | ムナグロ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | ウミネコ | 2 | | | | | 2 | （獣類） | | | | | | | |
| | トビ | 11 | | | | 1 | 10 | | ハクビシン | 1 | | | | | 1 |
| | サシバ | 2 | | | | | 2 | 小計 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 7 | ノスリ | 3 | 1 | 1 | | 1 | 2 | 合計 | | 45 | 20 | 6 | 0 | 19 | 40 |

令和４年 12 月１日～令和５年３月 31 日までの収容数は、鳥類 10 種 20 羽、獣類０種０頭で、昨年度の同時期（鳥類 57 羽、獣類１頭）と比べ鳥、獣類とも減少した。

※令和 5 年 2 月 10 日～3 月 31 日は鳥インフルエンザの防疫対策のため収容不可

**〈特記事項〉アラナミキンクロ　メス　幼鳥**

令和４年 12 月 25 日、新潟市中央区翁町地内の道路上で保護され、27 日にセンターへ収容された。骨折、外傷は確認できなかったが衰弱が著しく餌も受け付けない状態で、翌日死亡した。

収容時体重：494g　全長：425＋mm（尾羽大部分欠損のため）　翼開長：740mm

自然翼長：213mm　跗蹠長：40mm

この個体は、センター初記録、新潟県初記録。

## 利用者数

※令和 5 年 2 月 10 日～3 月 31 日は鳥インフルエンザの防疫対策のため臨時休館

| 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 計 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 来館者数 | 79 | 88 | 26 | 0 | 193 | 645,709 |
| 相談件数 | 39 | 31 | 32 | 22 | 124 | － |

### 館内設置のトキ募金箱の報告

令和５年１月～令和５年３月　300 円　累計　317,922 円

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。

**新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里**

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231　新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500　Fax：0254-41-4501

HP：https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/

E-mail：ngt031210@pref.niigata.lg.jp